

社会福祉法人
北ひろしま福祉会

蝦夷 70

vol.70

エゾエンゴ・サク

援護 咲く

北ひろしま福祉会の運営に際し、ご支援ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

昨年5月にコロナ感染症の取り扱いが2類から5類に変更になり日常生活での規制も大きく緩和されました。コロナ禍の3年間、皆様方におかれましても、1つ1つの行動が緊張の連続だったと思います。そのような状況下で、利用者様を第一に考え支援に当たった職員の努力とご家族のご協力に心から感謝申し上げます。

法人運営も3年間のコロナ禍で大変厳しい状況でしたが、今年度に入り、職員の努力と協力により順調に回復してきています。又、厳しい状況下の中で関係機関の皆様や地域住民の皆様からも多くのご支援、ご協力を頂きました事、紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

平常に戻りつつある法人内での職員動向について、2点お話させていただきます。

1点目は、昨年11月に新プロジェクト「super7プロジェクト」が立ち上げられ、発想力豊かな若い世代の職員を中心としたメンバーで構成した、主に「職員採用を促進」する為のチームです。現在の活動内容としてはInstagramへの投稿や出身学校訪問等をしながら、法人の情報発信をしています。2点目として、女性職員の活動から発展した「わくわくワーク」委員会の計画で、3年目、4年目職員の世代交流会の実施や、1月に職員の旦那様や奥様、子ども達も一緒に参加出来る交流会の実施、職場環境整備の取り組み等を行いました。このような若い職員が直接多く法人運営に参加、法人づくりや職員育成に積極的にかかわっています。

昨年3月に北海道ボールパークFビレッジが開業して、330万人の方々がお出でいただきました。法人が運営している施設周辺も交通量が多くなり、利用者様の送迎等についての運転には細心の注意を払うようお願いしています。

2年目を迎えるボールパーク周辺地域は昨年以上に賑わいが予想されています。関係機関の皆様には、今後とも、ご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。

北ひろしま福祉会 理事長 渡邊憲介

秋まつり&お正月イベント

「秋にお祭りやらないの?」という声にお応えして、グリーンパーク北ひろでは十一月に「秋祭り」を、十二月と一月には「お正月イベント」を行いました。秋祭りでは屋台を一緒に作り上げました。メニューの看板の色塗りをお願いすると、「好きな色に塗っていい?何色にしようかな」と一人ひとりが好きな色を塗り、個性あふれる色彩のメニューができました。当日来場された皆様には色とりどりの葉を壁の木に貼ってもらい、大樹を作り上げました。

お正月イベントでは年越しそばとおせち・お寿司をご提供しました。おせちとお寿司は好きな方を選んでいただき、「えー、両方はだめ?」と迷われている方も多くいらっしゃいました。一年の終わりを年越し蕎麦で結び、御節料理で一年を開く。年末年始を楽しまれた皆様は、「いい一年にしよう!」と大変意気込まれていました。



アダプテッドスポーツ大会開催



令和6年1月に共栄生活介護プロジェクトで「第1回アダプテッドスポーツ大会」を開催しました。
共栄では、利用者様に合わせルールを変えて、「ボッチャ」と「フライングディスク」の2つの競技を体験しました。
ボッチャでは的を大きなものにする事で視的に狙いやすくしています。
フライングディスクを投げるのが難しい方には新聞紙を丸めたボールを投げさせていただきました。
どの競技も皆様楽しそうに参加され、参加後は賞状をお渡ししました。



季節イベント開催



とみがおかではクリスマス会、お正月、バレンタインのイベントを開催しました。
今年は雪が降る日が少なく、クリスマスも不安がありましたが、少しずつ降り積もり雰囲気のある最高のイベントとなりました。バレンタインを皆さんで楽しみました。
来年度も利用者様に楽しめるイベントを企画していきます！



北広島市のゴミ袋の製造・作業を開始しました



北広島セルブでは北広島市のゴミ袋製造を昨年の12月より開始しました。
今年度は利用者様にゴミ袋の折り畳み・袋入れ作業の他、機械作業にも入っていただき、安全な工程での作業を担ってもらっています。
北広島市以外では喜茂別町のゴミ袋の製造も行っています。



節分レクレーション



北広島デイセンターでは2月2日に節分レクレーションを行いました。午前中はドラムサークルの方が来てくださり、中央公民館と一緒に楽器の演奏をしました。ドラムサークルの方がリズムを取り、それに合わせて利用者様が太鼓やマラカスを鳴らしていました。日中の音楽活動で培ってきたリズム感覚を活かして皆さんとても上手に楽器を演奏されていました。



後半は職員が節分の歌をうたい、知っている歌が始まると喜ばれるかたも多くいらっしゃいました。午後は鬼の顔に見立てた“くす玉割”を行いました。くす玉にボールを投げ、中には力いっぱい投げる方もいました。中にはお菓子が入っており、割れたときは驚きや喜びなど皆さんとても楽しまれて参加されていました。

行事後は景品のお菓子を食べ、皆さん良い笑顔で1日を過ごされました。来年度も感染症に気を付けながら行事等行っていきます！



わくわく子育て交流会・勉強会

機能訓練センターでは、下半期に様々な研修を開催しました。

前年度に引き続き、一般社団法人 日本ノーリフト協会より、保田淳子代表理事をお招きし、日常生活の中にも潜む腰痛についての対策をお話いただきました。また道央知的障がい福祉施設協会主催のタイムリーニーズ研修でも、ノーリフトケア®について取り上げていただき、実際に福祉用具にも触れる場を設け、理解を深めて頂きました。法人内の委員会とも協力し、働きながら子育てを行う職員の交流会を開催し、お子さん達が館内の遊具で遊ぶ中、普段なかなか交流のない事業所の職員ともお話しもらうことで、同じ境遇の中、働く職員同士の悩み相談を行う場としても活用していただきました。

次年度も、多くの方にご利用いただけるよう、機能訓練センター職員一丸となって取り組んでいきます。





あらためて学ぶ

3月9日(土)、北広島コラボでは窒息について学ぶ研修を行いました。先日からニュースで取り上げられている事故や事業所でもうまく食事を呑み込めない方もいらっしゃることから、法人機能訓練専門委員会に依頼し、事業



所職員に向けて研修していただきました。研修を受講してあらためて窒息時の対応や、自身の支援方法を見つめなおす機会にもなりました。職員一同事故防止に努めていきます。



“食の力”と“アートの手”

事業所移転&レストラン開業から3年目となる今年は、今まで以上に自分たちらしく、こだわりの“食の力”と障がいという垣根を超えた“アートの手”で豊かな空間づくり・地域づくりにチャレンジしていきます。

3周年記念企画として、4月1日(月)~5月31日(金)の期間『熊展“Bear Bear Bear”』を開催します。アイヌ民族の「伝統と今」を伝える結城幸司氏の作品を中心に、札幌市在住の美術作家小林龍一氏の作品も1年ぶりに展示させていただきます。

その他にも熊にまつわる作品をたくさんご準備して、皆様をお出迎えいたします。



また、4月13日(土)には、レストランではじめての音楽イベントを開催します。吹き抜けのある広々とした空間で奏でられるフルートとピアノのすばらしいハーモニーをお聴きいただけます。ぜひ春の陽気に誘われて遊びに来ていただけたら幸いです。



家族会との勉強会開催

東部緑の苑では、これまで新型コロナ感染予防で開催ができなかった“ご家族とのタイアップ活動”…令和5年度は4回にわたって家族会と一緒に勉強会を開催する事ができました。

第1回は“看取り”という言葉のイメージや意味合いの価値、そしてご高齢者の身体機能の状態や“食べる”機能などについて情報提供させていただきました。

第2回は、高齢期(超高齢期を含めて)における“治療”と“施設で暮らすということ”について皆さんと一緒に考える機会を持たせていただきました。

第3回は、お食事に関して実際に試食も交えながら、高齢者の食べる機能

の低下に合せた食事形態や種類についてと一緒に学び、第4回は実際に東部緑の苑でお看取りをさせていただいた事例の紹介をしました。

各回ともに20~30名程のご家族が参加され、職員と一緒に“看取り援助”という支援について学びを深め合いました。

今後も家族会との勉強会を通じて、入居者の皆さんの“その方らしい生ききる”をご家族と一緒にサポートしていけるように学び、実践につなげていきます!!



デイサービスセンター ヴェールからこんにちは



デイサービスセンターヴェールでは、毎年恒例となっている、地域貢献推進部部長の野口と能力開発室室長の永島がヴェールの利用者様の前で、そば打ちを披露させていただきました。

その後、昼食で打ち立てのそばを利用者みなさんにふるまい「美味しい」とよろこんでいただき、みなさんおいしそうに召し上がられました。

また、別な日には、もちつき大会を開催。鏡餅を作り、お供えをし、その後は、おやつに早変わり!!

ヴェールはいつも利用者様の笑顔いっぱいです。



